

# シングルユース軟性鼻咽喉鏡の性能評価

Ambu® aScope™ 4 ライノラリngo スリムは  
軟性内視鏡による耳鼻咽喉科手技の97%超で使用に肯定評価

## 緒言

シングルユースの内視鏡によって、内視鏡医は必要な場合はいつでもすぐに清潔で機能的な内視鏡を手にすることが確実となる。シングルユース気管支鏡の性能は従来の気管支鏡と同等であることが証明されているが、最近、耳鼻咽喉科手技用のシングルユース内視鏡が開発された。

(Ambu® aScope™ 4 RhinoLaryngo Slim [Ambu A/S、デンマーク、パレルプ]、外径3.0 mm)。本研究は、シングルユース内視鏡が耳鼻咽喉科医の要求を確実に満たすものとなるよう、その操作性および画質を体系的に評価することを目的とした。

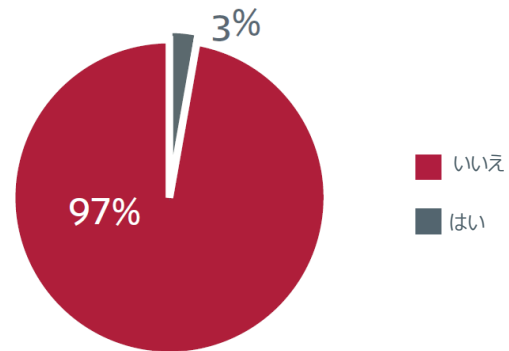
## 方法

複数の国々の耳鼻咽喉科医に、経鼻内視鏡検査、喉頭鏡検査、咽頭鏡検査などの内視鏡による耳鼻咽喉科手技をすでに予定している患者に対するシングルユース内視鏡の使用を依頼した。手技後すぐに、参加した医師はシングルユース内視鏡の性能と使いやすさについて調査票に記入した。調査票はすべて一元的に収集し、すべてのデータを統計プログラム(©IBM SPSS Statistics、バージョン22.0)に入力した。3段階スケール、4段階スケール、5段階スケールでの評価を、0から100のスコアに正規化し、追加および直接比較ができるようにした。記述統計を用いて調査結果を報告した。

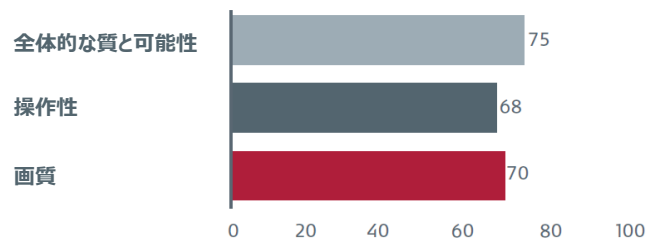
## 結果

合計262件の手技(97%超)がシングルユース内視鏡で良好に行われ、8件の手技(3%未満)で、医師は手技中に通常のリューザブル内視鏡に戻す必要があった。

■ 手技中に通常のリューザブル内視鏡に戻す必要がありましたか？

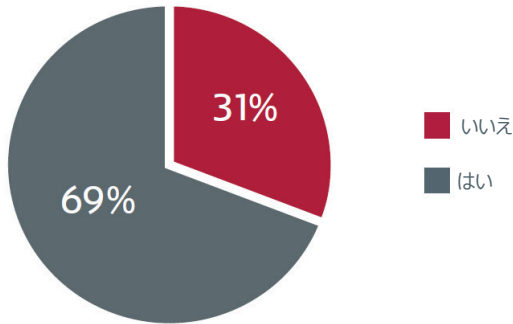


操作性、画質、全体的な質と機能性の評価は肯定的で、スコアはそれぞれ68、70、75であった。



医師らは、実施した手技件数の大部分（以下の質問に対して回答があった手技248件のうち172件〔69.4%〕）で、リユーザブル内視鏡をシングルユース内視鏡で置き換え可能と判断した。

**Ambu aScope 4 ライノラリンゴで、現在のリユーザブル内視鏡を置き換えることができましたか？**



## 考察

開発者は、引き続き努力し、可能な限り最良の内視鏡を医師に提供する必要がある。「理想的な内視鏡」は、目的の位置に進み、術者が適切な診断上の決定を行えるような画像を提供できるものでなければならない。

さらに、「理想的な内視鏡」は、いつでも使用でき、清潔かつ安全であることが保証され、手頃な入手価格で手技を実施可能とするものである必要がある。

### 交差汚染のリスク

内視鏡は、無傷の皮膚、粘膜、唾液、また、場合によっては血液と接触するため、伝染性感染症の原因となる可能性がある。実際、米国緊急医療研究所（ECRI）が発表した年次報告によると、リユーザブルの軟性内視鏡による交差汚染は、過去13年間「健康技術による危険のトップ10」に入っている。

さらに、内視鏡の回転率が高く、忙しい外来クリニックでは、洗浄ガイドラインの遵守が難しい場合がある。その結果、適切に洗浄された内視鏡の入手の問題が発生することが考えられ、緊急時や時間外では特にその可能性がある。

## 結論

複数の国々の耳鼻咽喉科医の評価は、医師のニーズをターゲットとして特別に開発されたシングルユースビデオ内視鏡の様々な特性に対して概ね肯定的であった。内視鏡による耳鼻咽喉科手技の97%超でシングルユース内視鏡を使用しての手技実施ができたことから、使用可能機器の入手、後処理の必要性、および交差汚染のリスクに関する潜在的な問題を排除できると考えられる。

**報告書全文のダウンロードと他の有益な耳鼻咽喉科情報の入手は[www.ambu.com/EntFactsandNumbers](http://www.ambu.com/EntFactsandNumbers)で可能。**



シングルユース内視鏡  
Ambu® aScope™ 4  
ライノラリンゴ スリムとエービ  
ュー™ モニタ